

五、今後發生ノ原因

ハ社長對石山重役紛争ノ状況

本會社ハ大正七年十一月現重役石山政男及矢代某等ニ依リ
創立社長ニ石山カ就任シ其ノ後投資關係ヨリ清水組ノ杉浦
隆治ナルモノ入り社長トナリ昭和三年十一月清水毅社長ト
ナリ今日ニ及ヒ出資關係ハ清水一雄（社長ノ父）及社長約
十一万六千円、石山夫妻約七万六千円、吉川雄輔約八千円
ナリ

而シテ石山ハ豫テ社長就任ノ意圖ヲ有シ策動シ弁タルカ
偶々本年三月社長カ業務係冬田勝造ニ不正アリトシテ解雇
セルニ冬田ハ之ニ憤慨シ石山ニ對シ社長カ社長ト合一系統
ナル荒川區日暮里所六四建設工場栄進社ト、取引ニ當リ協
定價以下ノ取引ヲ為シオルコト其ノ他社長ノ不正事實ヲ暴
露スルニ至リタル為石山ハ之ヲ以テ社長ヲ失脚セシムヘク

社長ヲ難詰、四月二十五日社長ヲ相手取リ替任横領ニテ告
訴ヲ提起スルニ至レリ。然ルニ其ノ後前記吉川雄輔ノ仲裁
ニヨリ石山ハ七月九日一旦告辭ヲ取下ソルニ至リタルカ未
タ釋然タラサルモノアリタリ

偶々六月三十日社長カ社長ト合一系統ヨリ入社セル販賣係
湯澤登之ニ對シ深進社横領ノ責任者トシテ事件解決ノ都合
ヲ理由ニ當分ノ間出社ヲ遠慮セラレタレト言渡シタルニ之
ヲ知リタル石山ハ之ヲ逆用湯澤ニ對シ引續キ出社ヲ命ジ更
ニ七月一日義弟松井岡一石山ノ長男定男ニ別記委任状ヲ渡
シ出社セシムルニ至レル為、社長ハ三名ニ對シ退社ヲ要求
對シ激怒スルニ至レリ

而シテ別記告辭事件ニ關シ七月二日横事局ニアリテハ社長
並石山ノ出頭ヲ求メ取調ノ上、不意辭処分ニ付セタル懸キ
ナルカ、其ノ際今後社長石山ノ両立ヲ許サハルモノアリトス